

浄水器・機能水についてのアンケート調査

目 次

はじめに	P 1
1. 調査母集団について	P 2
2. 浄水器に関するアンケートの結果（抜粋）	P 3
3. 機能水に関するアンケートの結果（抜粋）	P 12
4. 今回のアンケートについての水環境部会の考察・提言	P 15
5. 参考文献	P 16

要 旨

2006年度『浄水器・機能水について』アンケート調査を実施した。

調査方法は06年5月～7月に当協会、水環境部会のホームページを用いた。

調査内容は

- ・ 浄水器に関して、“安心・安全・快適”性はどのように考えられているか・・・13項目の調査、
- ・ 今日非常に興味を持たれ、ある程度のマーケットを確立し創めている“機能水”に関して、機能水の認知度、“安心・安全・快適”性はどのように考えられているのか・・・について4項目の調査

回答総数は206名と多くはないが、回答者の75%が当協会の会員で、水に関心を持っている方が中心となった母集団であり、一般の方を対象とした業界団体「浄水器協議会」の調査結果（浄水器の調査）と比較すると特徴ある結果が見られる。

本調査報告書において、その結果と若干の考察・提言を行います。

2007年4月



日本健康住宅協会
水環境部会

専門委員からのコメント

摂南大学 薬学部 公衆衛生学研究室

教授 中室 克彦

水は人の生活環境において、空気や土壌とともに必要不可欠な環境因子である。人体は60～70%が水で構成されており、数日間水を摂取しないと命に危険が生じる重要な「いのちの水」である。我が国は古くは、清浄な水に恵まれた国であったが、公害を経験し、さらに公害の時代を乗り越え、現在は安全で、おいしい水が求められるようになった。

近畿圏の水道においては、琵琶湖-淀川水系の湖水や河川水を水源としているため、一時期、琵琶湖の富栄養化によってカビ臭のする水道水が配水され、社会問題化した。このような状況において浄水器あるいはボトルドウォーターが普及するようになった。現在では、高度処理であるオゾン処理によって異臭味問題は解決したが、いまだに浄水器やボトルドウォーターを求める勢いは収まっていない。

今回の浄水器・機能水についてのアンケート調査は、NPO 法人日本健康住宅協会（KJK）に関わる人たちが母集団となっており、水に関心の高い人たちの考えが反映されたアンケート結果になっている。本アンケート結果から、水に対して関心の高い、特に働き盛りの30～50歳の人たちが、安全で、安心でき、さらに機能水のような健康を目指した水を求める姿が垣間見られ、興味あるアンケート結果になっている。一読願えれば幸いです。

メンバー

	所属	氏名
専門委員	摂南大学 薬学部	中室 克彦
部会長	(株)大阪環境技術センター	郷木 和昭
部会員 (順不同)	大和ハウス工業(株)	大野 喜智
		小池 昭久
	東陶機器(株)	木下 昌晴
	(株)メイスイ	杉本 亘
	積水ハウス(株)	辻本 彰
	松下エコシステムズ(株)	梨本 一男
	個人会員	種本 弘晃
個人会員	柏木 隆宏	
事務局		大久保勝行

はじめに

当水環境部会は創設以来“安心・安全・快適な住い環境作り”に水環境はどう関わるかをテーマに活動を行っています。

本年度（06年度）は〔1〕浄水器について〔2〕機能水についてのアンケート調査を実施しました。

調査は当部会のホームページを用い、06年5月～7月に実施しました。

回答結果は、総数は206名で、回答者の75%（155名）の方が当協会の会員で、81%（166名）の方が男性と特徴ある母集団と成りました。

アンケート内容は

- ・当部会の関心事項の1つである“浄水器”に関するものです。

浄水器の普及率は全国平均で31.1%（大都市圏：41.1%、郡部：24.3%）（浄水器協会：2003年調査）で、住宅に欠かせないものになりつつあります。

浄水器に関して、“安心・安全・快適”性はどのように考えられているか・・・13項目にわたり、アンケート調査を行いました。

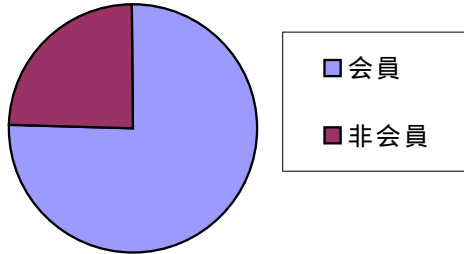
- ・同時に、今日非常に関心を持たれ、ある程度のマーケットを確立し創めている“機能水”に関して、“安心・安全・快適”性はどのように考えられているのか・・・についても4項目にわたり、アンケート調査を行いました。

本調査報告書において、その結果と若干の考察・提言を行います。

1. 調査母集団について

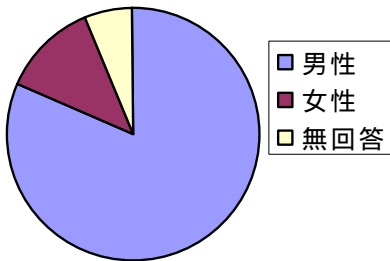
--日本健康住宅協会の会員 / 非会員ですか?--

会員 155人 非会員 51人

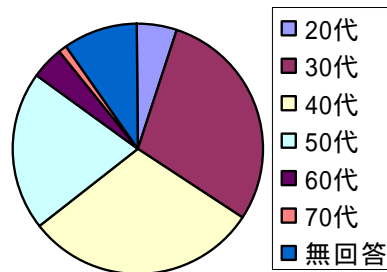


--性別--

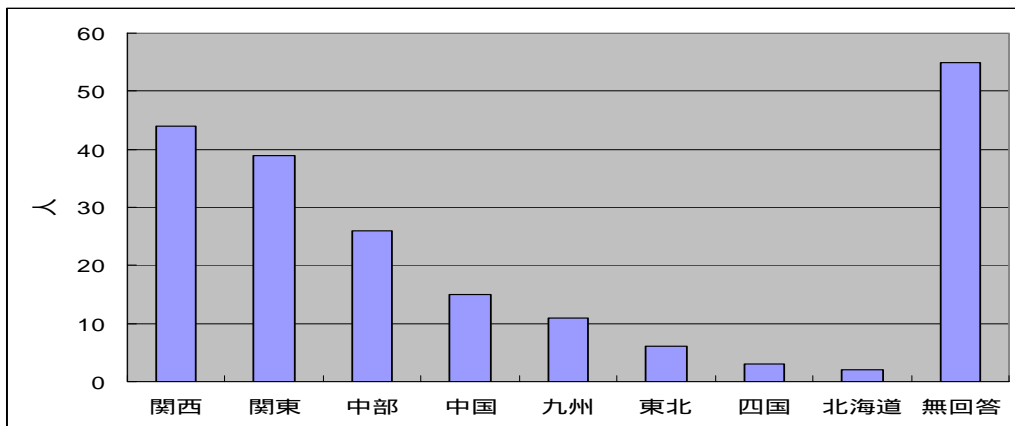
男性 166人 女性 25人 無回答 15人



--年齢--



--地域別--



--コメント--

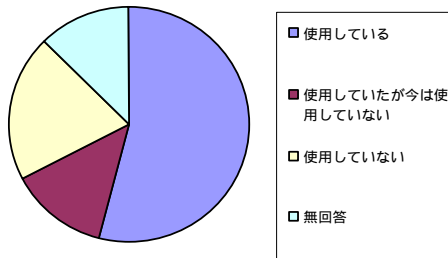
(1) 調査母集団の情報から、回答者206名のうち約75% (155名) が当協会の会員であり、このうちの80%は男性であることを重要視しています。

回答者は、浄水器や機能水に関心のある30~50歳代の男性であることも特徴があります。

(2) 回答者全体の年齢構成は30歳代が25%、40歳代が25%、50歳代が25%で各世代がほぼ同じ値であることが特徴になっています。

2. 浄水器に関するアンケートの結果（抜粋）

--問 1:あなたの家では浄水器を使用していますか？--



--コメント--

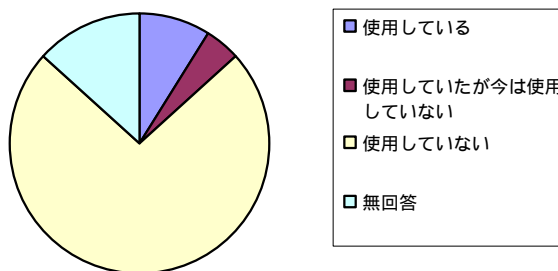
(1) 浄水器を使用している年齢層は、30歳代、40歳代、50歳代がいずれもほぼ同程度の人数でした。

(2) 浄水器の使用率が高率の62%でした。

これは浄水器協会(以下、浄水協)の普及率調査結果の全国平均約30%を大きく上回るものであり、日本健康住宅協会(以下 KJK)のアンケート回答者は水に対する意識が高い集団(KJK 会員がほとんどであったので当然か?)と推察されます。

回答者は普段から水に対する意識が高く、浄水器を日常使用されている方が大半であるということを理解した上で結果を見ていく必要があります。

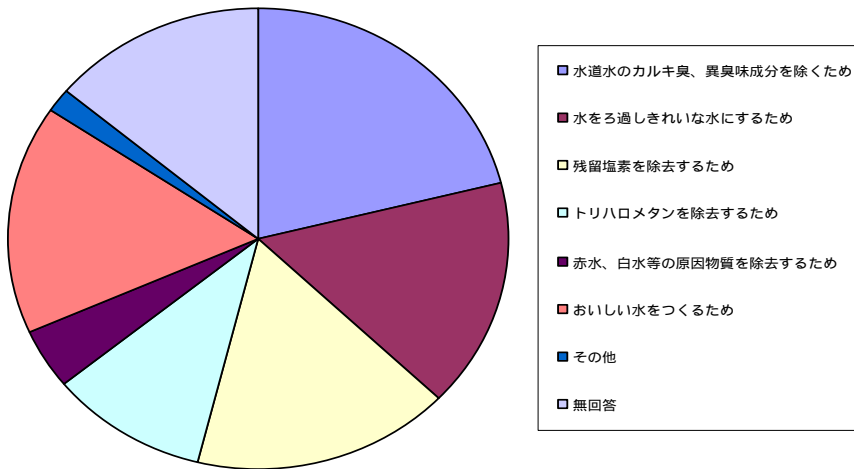
--問 2: 浄水シャワーを使用していますか？



--コメント--

一時、朝シャンが流行した時分、髪の毛のダメージ防止のため、浄水機能のあるシャワーが提案されたが、現在ではあまり使用されていない結果が出た。

--問 3: 浄水器の下記の効果うち、下記のどの目的で使用していますか？（複数回答可）



--コメント--

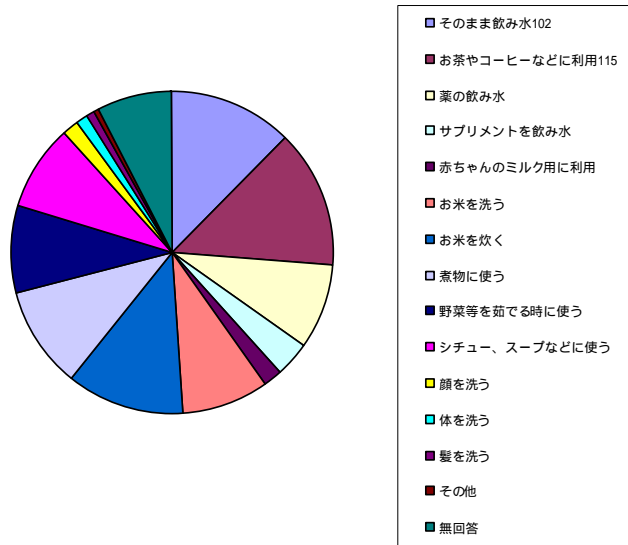
- (1) 水道水のカルキ臭、異臭味成分を除去ため、
 - (2) おいしい水をつくるため、
 - (3) 残留塩素を除去するため、
 - (4) 水をろ過しきれいな水にするため、
- の順である。

この結果は、異臭味物質（化学物質）を除去して、安全でおいしい水にしたいとの要望が強いことを示しています。

なお、味に対する期待が一番で、トリハロメタンのことは 12%と少し意識が低いと感じます。

（浄水器メーカーとしてはその点にもっと期待していただきたいというところはありません。臭いは取れて当たり前で、トリハロ除去が商品開発のテーマになっているため）

--問 4:浄水器の水は何の用途に使用していますか？（複数回答可）--



その他については下記の意見があった。

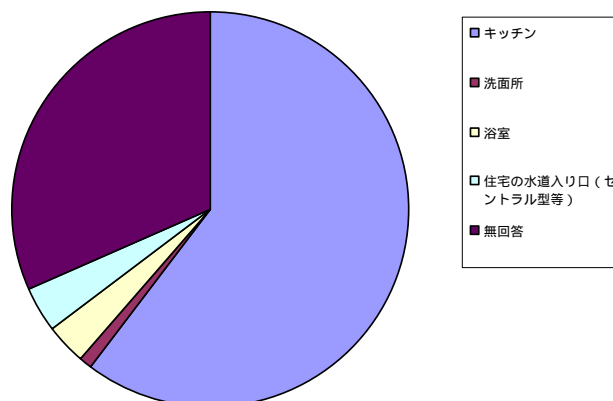
使用していない(男 年齢:39)、野菜を洗う(男 年齢:39)、飼い猫の飲み水(男 年齢:63)、米を洗うではなく、米を研ぐが正しい(男 年齢:36)、生活水すべて(男 年齢:32)、生活水すべて(男 年齢:32)、食べる飲むのすべて(女 年齢:55)、飲み水用として使用しているのみです(男 年齢:67)

--コメント--

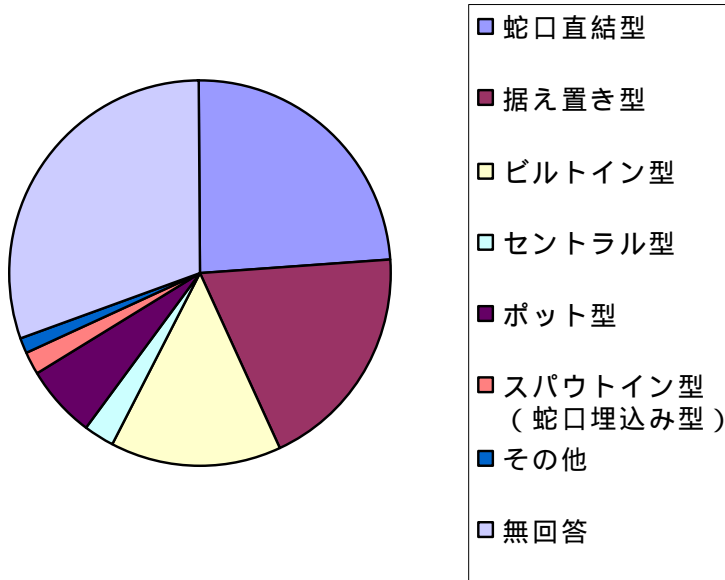
お茶やコーヒーなどに利用、そのまま飲み水、お米を炊く、煮物に使う、などが主な用途で、比較的料理全般に使用されています。

おいしくて安全な水が強く求められています。

--問 5:住宅のどの場所に設置していますか？（複数回答可）



--問 6:浄水器のタイプはどのようなものですか？（複数回答可）--



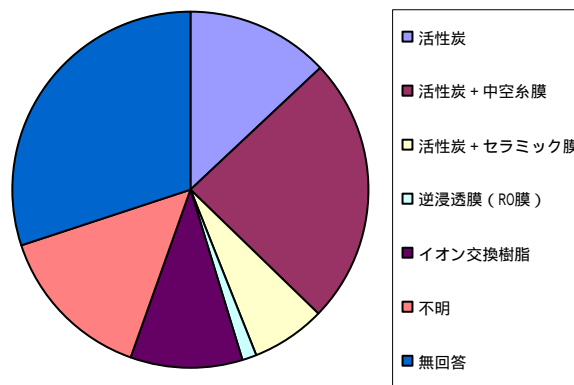
--コメント--

蛇口直結型、据え置き型、ビルトイン型の比率の差が予想していた程大きくない結果となりました（浄水協調査では蛇口直結型が圧倒的に多い結果と成っています）。

ひとつの推察として、KJK のアンケート回答者の年齢層が高く(40代、50代が多い)、持ち家であることが考えられます。

現在、ハウスメーカー様ではビルトイン浄水器を採用されている場合が多く、家を購入したときから設置されていたということも考えられます。

--問 7:浄化のタイプ(ろ材)はどのようなものですか？（複数回答可）--

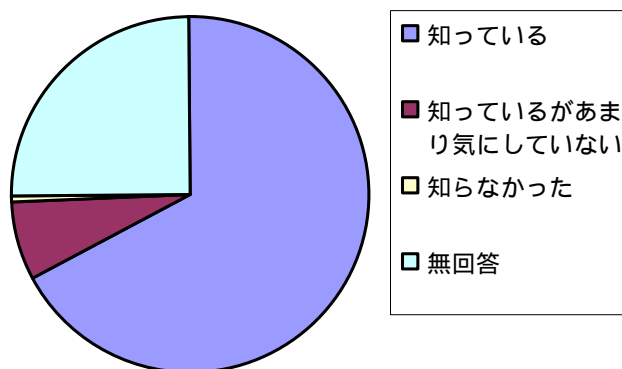


--コメント--

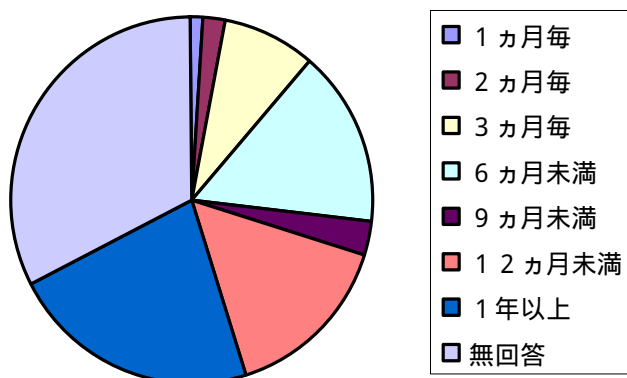
活性炭+中空糸膜が大多数であることは予想したとおりです。

活性炭+セラミック膜が 9%ありますが、セラミック膜を使用した浄水器は1社しか発売しておらず、溶解性鉛除去用に入れているセラミックをセラミック膜と誤解されている可能性があるのではないかと推察します。

--問 8:浄水器のカートリッジに寿命があります。ご存知でしょうか？



--問 9:カートリッジはどのくらいで交換していますか？--

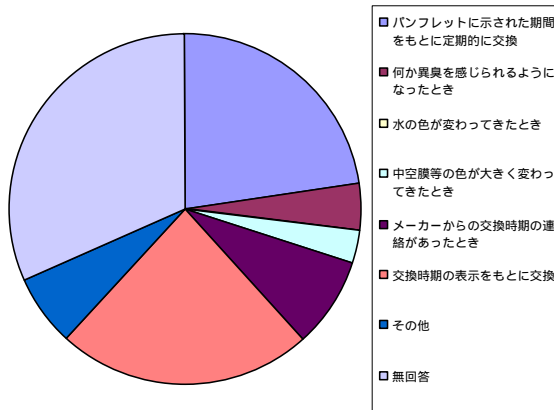


--コメント--

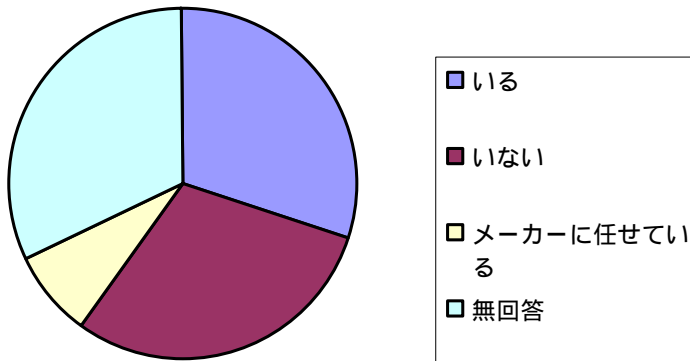
カートリッジの交換時期は6ヶ月と答えた人が最も多く、ついで12ヶ月の人が多く、1年以上が32%でした。交換時期の啓蒙活動が必要と感じました。

カートリッジの寿命が短く、交換が面倒であるという意見が多数あったことは浄水器メーカーとして今後の商品開発のインプット情報として考慮をお願いします。

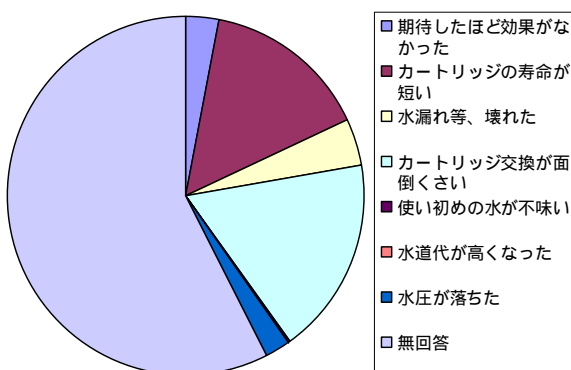
--問 10:カートリッジの交換時期はどのような目安で判断されていますか？--



--問 11:カートリッジの交換時期を記録していますか？--



--問 12:浄水器を使用してこんなことで困ったことはありますか？--



--コメント--

カートリッジの寿命・交換等メンテナンスに関わるものが困っている案件のようです。メーカーさんは顧客の声を尊重し、改善に努めて欲しいと考えます。

--問 13:現在ご使用の浄水器にこんな機能があればよいと思うことはありますか?--

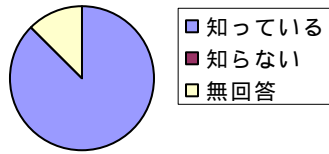
- ・メンテナンス不要な商品(男 年齢:49)
- ・水の浄化以上の機能は不要で、メンテナンスフリーであれば便利。(メンテナンスの手間とコストが低いほど良い)(男 年齢:73)
- ・使用に応じ選択した水質が得られること。100%水が利用できる感知機能。水道メータ後に取り付け可能な性能(水道法で不可かもしれないが)。機器の超小型化で蛇口に目立たなく取り付けできること。(男 年齢:59)
- ・美味しくなる機能。種々の味が選択できる機能。(男 年齢:51)
- ・機能ではありませんが、カートリッジの値段が高すぎる。もっと安価なものが必要と思います。(男 年齢:54)
- ・寿命が長いこと、においをよくとること、安価なこと、美味しい水になること、安全なこと(男 年齢:75)
- ・交換時期のアラーム的な機能 = 実寿命・実質的な交換時期を知らせる機能(自己診断機能)
- ・アクアクララのように蛇口から直接冷たい水と暖かいお湯が出れば便利(冷蔵庫で冷やす手間が省ける)(男 年齢:39)
- ・カルキや他の不純物の除去状況が数字で確認できる機能、またカートリッジの交換時期を知らせる機能(男 年齢:56)
- ・切り替えボタンに汚れが溜まりやすい。水に含まれるミネラル等まで除去しすぎる。又は有害物質を除去しきれない。カートリッジが汚れた場合、逆に汚れが多く出てくるような不安有り。(男 年齢:40)
- ・18万円の据え置き型、約7万円のビルトイン型を使用、いずれもカートリッジ交換ごとの高額なこと、実際効果が実感できない。(男 年齢:64)
- ・カートリッジ交換期間が長い。3年毎とか。(男 年齢:33)
- ・交換の面倒くさいか、交換期間の短さから、コストが掛かりすぎる。(男 年齢:47)
- ・蛇口直結型で掃除がしやすいシンプルなデザイン(男 年齢:)
- ・蛇口との接続がうまくできないので、蛇口がどのタイプでもうまく取り付くような共通のルールがあればよいと思う。(男 年齢:35)
- ・違いが判り難い(男 年齢:51)
- ・活性炭と中空糸膜フィルター夫々の実際的な交換時期を知りたい。中空糸膜には自己洗浄機能を持たせているし、使用する水量も反映するシステムができると、無駄がなくてあり難い。(男 年齢:63)
- ・給湯器のお湯を温かいまま飲用に使える機能。(男 年齢:42)
- ・カートリッジ取替えサイン(お知らせ表示)があればと思う(男 年齢:40)

- ・安全でうまい水になれば・・・。(男 年齢:52)
- ・お湯でも使えて、長寿命のカートリッジがあればよいと思います。また、カートリッジの価格が高い。(男 年齢:36)
- ・そもそも浄水器なのだから、残留塩素が取ればいいのではと思います。やれ何々に聞くとかオカルトばかりで、怪しいものが多く世に出回っているが、そういう類のものは一切なくなってほしい。(男 年齢:32)
- ・各メーカーによりカートリッジが違う、新商品の発売により古いタイプのカートリッジが販売しなくなってしまったりして大変不便である。各社器具の形はそれぞれであるにしてもカートリッジは
各共通のものにすれば使用者側としては、とても便利であるし経済的であると思う(男 年齢:47)
- ・カ - トリッジの交換がなくても性能が保てるもの(男 年齢:54)
- ・カートリッジの交換がワンタッチでできると助かります。(男 年齢:38)
- ・ 植物の発育促進(男 年齢:55)
- ・ カートリッジ不要タイプがあればいい。(男 年齢:51)
- ・水量がもう少し多くなればなお良い。(男 年齢:33)
- ・シャワーに関しては浄水器を付けているが、カートリッジの寿命が短いし、シャワーヘッド内にある石などが目詰まりの原因になってシャワーの出が悪くなる。(男 年齢:40)
- ・以前すんでいた埼玉県さいたま市(旧大宮市)では水道水がカビくさく、とても飲める状態ではなかったので、効果は十分に感じられた。(男 年齢:47)
- ・タンクに一度貯めずに水道管直結でできたらいいなと思う。(女 年齢:55)
- ・浄水器を置いたら調理スペースがなくなったので薄型があると良いと思った(女 年齢:)
- ・水圧が落ちるとお湯が出なくなるので、特に冬期間は水圧が落ちてもお湯が出る機能が欲しい時もありました。(男 年齢:33)
- ・アルカリイオン製水器を使用していますが、捨て水がもったいなく自動的に貯水できる装置が付帯して
いたら良いと思います(男 年齢:58)
- ・カートリッジを定期的に交換するのではなく、定期的に清掃するだけで使える浄水器があればいいと思う。(男 年齢:35)
- ・イオン成分が変えられる機能。ミネラル水などにもなる機能。(男 年齢:39)
- ・お湯も使用できると良い。(男 年齢:51)

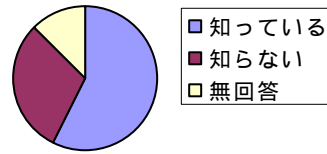
3 . 機能水に関するアンケートの結果（抜粋）

--問 14:水道水以外の以下の水を知っていますか？--

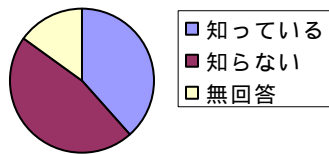
アルカリイオン水



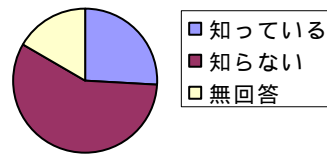
海洋深層水



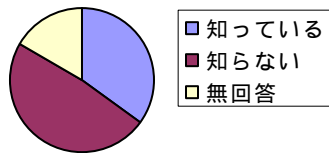
酸性水



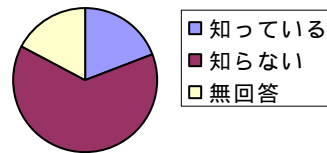
磁気水・磁化水



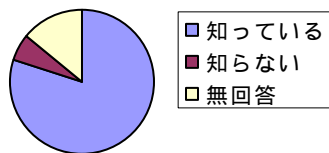
還元水・活性水素水



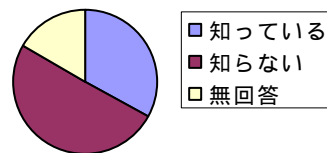
電気浸漬水（トルマリン）



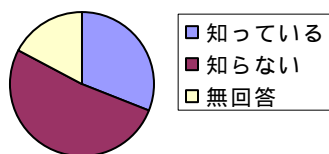
麦飯石処理水



オゾン水



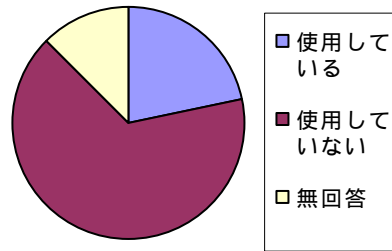
ウォーター



--コメント--

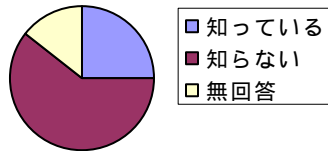
海洋深層水、アルカリイオン水の知名度は高い結果となりました、それ以外の機能水も170人中40～70人近くの人を知っており、この原因は、回答者に本協会の会員が多く、浄水器や機能水に関心の深い人が多いことを示しています。

--問 15:アルカリイオン水・酸性水について伺います。 ご使用されていますか？--

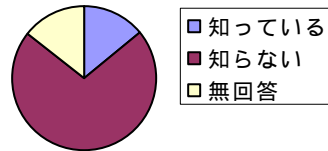


--問 16:アルカリイオン水と酸性水とは、以下のような効果のある水のことですが、これらの効果についてこれまでご存知でしたか？--

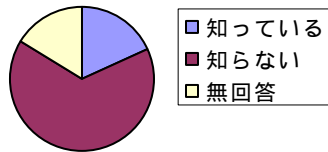
胃酸過多を緩和する



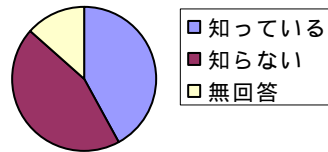
慢性的な下痢に効く



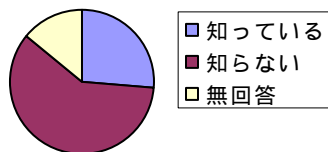
消化不良を緩和



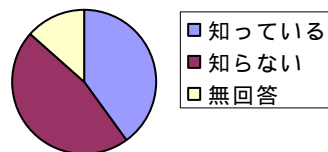
水の吸収を高め、お米をふっくら炊き上げる



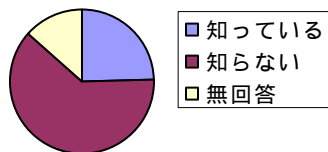
食材のアクを抜き、えぐみの少ない料理を作る



アストリンゼン水として肌をひきしめる
(酸性水)



食器洗い時、茶シブが落ちやすい
(酸性水)



--問 17:効能や健康になる水ということでボトルを購入したことはありますか？ また、それはどのような機能・効果を謳った物ですか？--

結果は割愛しました。

4 . 今回のアンケートについての水環境部会の考察・提言

(1) 水道水に関して安全性に疑問を感じている人がおられるようです。

水道水の安全性の啓発が必要と考えます。

(2) 浄水器には供給原水の水質が大きく影響します。

今日、例えば大阪市においては高度水処理が実施されておますように、原水の水質は大幅に改善され、水質に留まらず、味の改善にまで配慮される時代になっています。この様な状況と浄水器に求められる性能との関係について、再考する必要があるでしょう。

(3) 浄水器の原水となる水道水の水質は、供給される浄水場からの距離、供給経路の機材の材質、経路の漏洩の有無、季節による温度等などにより大きく影響されます。除去しようとする対象物質の調査・把握は重要なことです。また、除去しようとする物質の種類と濃度により、浄水器カートリッジの寿命は大きく変化します。この観点からも簡易検査などによる水質検査は重要な課題と考えています。

(4) 飲料水に関しては、好み・嗜好の領域に入っている部分もあり、取り扱いが非常に難しい面があります。客観性を十分に考慮した啓発活動が重要と考えます。

(5) 機能水に関しては、効能・効果が十分に証明（説明）されている商品は少ない感があります。関係学会の動きを調査し、啓発活動を行う必要があるでしょう。

5 . 参考文献

- 1 . 質試験成績並びに調査報告（第 4 4 集）（平成 1 5 年度 大阪府水道部）
- 2 . 市内配水過程おける残留塩素の適正管理にかかる調査
配水管末端地域（咲洲）の実態と検証 大阪市水道局
- 3 . 「飲料水について」のアンケート調査、奈良県生活科学センター 消費生活ネットワーク、（調査結果発表：平成 1 6 年 2 月）
- 4 . 浄水器・浄水シャワー使用調査結果、2 0 0 5 年 7 月：調査実施（2 0 0 7 年 1 月）

25日入手) 浄水器協会

5. 浄水器 Q&A、発行 : 2005年3月 第7版

発行者: 有限責任中間法人 浄水器協会事務局